

元気モリモリニュース



今年は、完全な形ではありませんでしたが、夏祭りが開催されました。少しずつ、日常が、戻りつつあります。

議員定数削減(24↓23)

9月議会で、議員定数を1人削減する条例が、賛成多数で可決されました(反対7)。議員定数については、私が初当選した平成15年の選挙は30人でした。それから、選挙ごとに2、2、1、1と削減し、今回の1減で、23人となります。(平成23年の市議選には、私は出ていませんが)。

「あまり削減すると市民の声が届きにくくなるから、もう削減しなくていい。」と言っていただく方もいらっしゃると思いますが、「まだまだ多い。」というのが、多くのご意見かと感じます。

議員それぞれの活動が見えにくいというのも、大きな要因かと思えます。行政の情報公開は、以前に比べ格段に進んできましたが、公開された情報や議会・議員としての活動を伝える努力がまだまだ足りないのだと思います。

住所・メールアドレス変更しました。

今年7月より、左記住所に引っ越しました。また、以前からメールの調子がおかしく、「メールしたのに反応がない。」というお叱りを受けておりました。現在は、左記メールアドレスを使用していますので、よろしく願います。ご迷惑をお掛けしました。(なお、FAXの利用も現在はしておりません。)

(住所) 836-0836 大牟田市左古町1丁目12番地
(メール) morijun1965@gmail.com

市議会定例会で質問しました

一般質問(令和4年6月21日)

- ① 都市計画と魅力あるまちづくり
 - ・ 3 駅プロジェクト
 - ・ 市庁舎整備
 - ・ 新大牟田駅の利用促進
 - ・ 動物園の将来ビジョン
- ② 雇用の創出と事業者の育成
 - ・ イノベーション創出事業
 - ・ 公共施設の包括管理業務委託の導入
- ③ 浸水対策
 - ・ 排水対策基本計画

※詳しくは、大牟田市議会ホームページ(議事録・インターネット録画中継)をご覧ください。

排水対策基本計画について

令和2年7月豪雨から、2年が経ちましたが、まだまだ、あの時の記憶は、鮮明に残っており、大雨のたびにハラハラし夜もおちおち寝ていられない、といった方も多いと思います。実際に、今年も一部の地域では、床上・床下浸水が発生しており、続けざまの被災に心よりお見舞い申し上げます。

2年前から、水路や側溝のしゅんせつ・整備、ポンプの新設や大雨時の仮設ポンプ設置、井堰・ため池の水位管理、監視カメラや水位計による情報収集や発信、避難所の運営の見直しなど、出来ることから積み上げてきています。そして、市民の方々に二度とこのような思いをさせたくない、抜本的な対策を考えようと令和3年、4年と2年かけ、排水対策基本計画を策定中です。ここでは、主にハード面の整備について検討し、大牟田市の雨水の流れをモデル化し、対策の効果について検証できるようにすることです。



仮設ポンプ(上)

監視カメラ(下)



現在、検討委員会で計画を策定中ですが、2回目の会議を傍聴して、気になる点がありましたので、6月議会で

- ① 計画の目標設定は、これまでのような国の基準に準ずるようなものでなく、被害の実態を踏まえた一般市民にわかりやすいもの(例・床上浸水は、もう起こさないなど)にすること
- ② これまでの別の計画策定のようなスケジュール感ではなく、案がある程度できた段階で公開し、議会や市民の意見を反映させやすくすること
- ③ 策定後は、丁寧に誠実に内容を説明すること

などを要望しました。

3 駅プロジェクトについて

3 駅プロジェクトとは、平成29年、商工会議所より提言されたもので、

- ① 新大牟田駅産業団地
- ② 新栄町再開発事業
- ③ 大牟田駅周辺へのホテル誘致

この3つを将来のまちづくりのために推進していくべきというものです。私は、新大牟田駅を生かすまちづくりと現在の中心市街地の活性化、この二つを両立させることが今後100年を見据えたまちづくりの骨格となると思いますので、この3つを実現し、さらに磨き上げることが重要だと思っています。①進行中②一旦休止③これから といった状況ですが、財政的に一息ついて今のうちに、着実に実行していくことが大切だと思います。(質問後、京大横にホテルルートインの誘致が決まりましたが、大牟田駅周辺の再整備の重要性は変わっていません。)

イノベーション創出事業

以前、商店街の活性化（空き店舗、空きスペースの活用）で、日南市を視察したとき、「なるほど！」と思わされたことがありました。空き店舗や元スーパーだった建物を魅力的にリノベ（大規模改装）したり、コンテナを利用したりして、おしゃれなお店や宿泊施設、交流広場を商店街の中に展開していると同時に、多くのIT企業を誘致していたことです。温暖で海に近い（プロ野球のキャンプ地でもあります）などの土地の魅力もありますが、企業トップのインタビューを読むと、やはり行政の努力のたまものであるとわかりました。

数年のうちに数百人規模の雇用につながり、若者の新規出店を後押ししながら、店の利用者となる人が働く場を商店街の中につくっていく。新規出店の施策よりも、こちらの方に興味がある。



イノベーション創出拠点(旧大牟田商工会館)



日南市の商店街の中にあるIT拠点

わき、これから大きく伸びていく産業であり、化学や素材産業、また、医療・介護が中心の大牟田市の雇用に新しい柱として若者の雇用の受け皿となるAIやIT関連の企業誘致が大牟田でも何とか出来ないかと議会でも、提案してきました。

関市長になり、AI・IT企業の誘致が総合計画に盛り込まれ、昨年、イノベーション創出事業が、スタートしました。その中核となる拠点の完成も近づき、さあこれからだと思っていていところ、早速、9月に入り、拠点内に凸版印刷株式会社のDX（情報技術による社会変革）開発拠点開設のニュースが飛び込んできました。他にも、何社からか引き合いがあっているということで、大牟田にも、IT関連企業を引き寄せる魅力があるのだと勇気を得ているところですが（関市長をはじめ行政職員さんの頑張りはもちろんのことですが）。

その先のイノベーション策定を

幸先の良い、スタートではありますが、本番はこれからです。さらにAI・IT企業の誘致を進め、企業と人材の集積を図り、福岡・熊本地域のIT産業の拠点の一つとしていかなければなりません。また、熊本県菊陽町には、国をあげての半導体工場が建設中です。大牟田にも、関連する企業から工場適地の引き合いがあります。残念ながら、市内には工業用地は、あまり残されていません。国が理系人材を大幅に増やそうとしている中、高等教育機関の増員、学部新設などの誘致や新しい工業団地の規模・場所の検討なども含めて、総合的な産業ビジョンを打ち出して欲しいと思います。

動物園の未来へ思い切った投資を

大牟田市動物園は、平成18年に民間の会社による管理運営に移行してからは、動物福祉を伝える動物園というコンセプトで、期待を大きく上回る実績を上げ、今や市民の誇りの一つとな

っています。雄のマンドリルやホワイトタイガーなどの人気のある動物の死亡や高齢化により、今後どうなっていくのかという不安があります。

設備面でも、トイレや駐車場の整備に加え、昨年、休憩スペースを兼ね備えたともだちや絵本美術館がオープンするなど、おもてなし機能の充実が図られる一方、獣舎をはじめ、園内施設の老朽化が進み、動物福祉に即した飼育には、面積

が不足するなど、動物園本来の魅力を維持できなくなりつつあります。

有名な北海道の旭山動物園では、職員のアイデアを形にして思い切った投資をしたことが快進撃につながったということです。

大牟田市動物園は、1992年に面積を2倍に拡げリニューアルオープンして以来、大きな投資をしてきていません。これまでお金をかけずに快進撃を続けているという事は、本当に現場の方々に頭が下がる思いです。今後は、これからの30年を見据えた、思い切った投資が必要だと思



① 人気者ホワイトティモ...



② 段々と数が少なくなっています



③ 赤ちゃんの誕生が待ち遠しい

皆様のご意見をお知らせください。

(連絡先) 住所 電話番号 Eメールの変更あります。

〒836-0836 大牟田市左古町1-12

電話/090-4844-8520

Eメール morijun1965@gmail.com

ホームページ <http://www.mori-jun.com/>

(「大牟田市議会議員 森 じゅん」で検索してください。)

